

平成 28 年度 toto スポーツ振興くじ助成 実績報告

1. 助成事業細目：スポーツ活動推進事業

2. 事業細目名：スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）

3. 事業名：第 61 回全日本養神館合気道総合演武大会及び講習会

4. 交付確定額：1,119,000 円

5. 実施状況

<開催日>10月22日（土）第61回全日本養神館合気道総合演武大会
10月23日（日）講習会

- ・競技演武：トーナメント方式。白帯の部・茶帯の部・黒帯の部、いずれも男子・女子に区分した上で実施。各部の男子・女子ともに上位3組を表彰。
- ・団体演武：各団体3分の演武を行い、審査委員が審査。団体演武、少年少女演武、壮年演武、ファミリー演武に分け、それぞれ上位3団体を表彰。
- ・模範演武：専修生演武、海外道場演武、指導者演武、支部長演武、本部指導員演武、警視庁師範演武、本部師範演武、館長代行演武、主席師範演武、最高師範演武を行った。
- ・以上の他、最高師範による総合解説、審査員講評など実施。
- ・大会翌日の講習会は、本部道場にて、館長代行・主席師範・最高師範が講師となり実施。

<参加者数> 演武大会参加者：一般 549名 少年 179名
講習会参加者：69名

6. 事業完了年月日 平成 28 年 10 月 23 日（日）

平成 27 年度 toto スポーツ振興くじ助成 実績報告

1. 助成事業細目：スポーツ活動推進事業

2. 事業細目名：スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）

3. 事業名：第 60 回全日本養神館合気道総合演武大会及び講習会

4. 交付確定額：7,800,000 円

5. 実施状況

<開催日>10月17日（土）第60回全日本養神館合気道総合演武大会
10月18日（日）講習会

- ・競技演武：基本技の部、トーナメント方式にていずれも男子・女子に区分（無級～1級まで）で実施。各部の男子・女子ともに上位3組を表彰。
- ・競技演武：自由技の部、各支部団体より1組が出場し、各団体で3分の演武を行い、塩田剛三杯（1団体）優秀演武賞（3団体）敢闘賞（3団体）を表彰。
- ・団体演武：各団体3分の演武を行い、審査委員が審査。少年少女演武、壮年演武、ファミリー演武、海外道場演武に分け、それぞれ上位団体を表彰。
- ・模範演武：専修生演武（警視庁専修生及び国際専修生）、海外道場演武、指導者演武、支部長演武、本部指導員演武、警視庁師範演武、海外師範演武、本部師範演武、主席師範演武、最高師範演武などを行った。
- ・以上の他、最高師範による総合解説、審査員講評なども実施した。
- ・大会翌日の講習会は、本部道場にて、道場長・主席師範・最高師範が講師となり、講習会を実施した。

<参加者数> 演武大会参加者：一般 690名 少年 165名
講習会参加者：86名

6. 事業完了年月日 平成 27 年 10 月 18 日（日）

平成 26 年度 toto スポーツ振興くじ助成 実績報告

1. 助成事業細目：スポーツ活動推進事業

2. 事業細目名：スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）

3. 事業名：第 59 回全日本養神館合気道総合演武大会及び講習会

4. 交付確定額：1,070,000 円

5. 実施状況

<開催日>11 月 15 日（土）第 59 回全日本養神館合気道総合演武大会

11 月 16 日（日）講習会

- ・競技演武：トーナメント方式。白帯の部・茶帯の部・黒帯の部、いずれも男子・女子に区分した上で実施。各部の男子・女子ともに上位 3 組を表彰。
- ・団体演武：各団体 3 分の演武を行い、審査委員が審査。団体演武、少年少女演武、壮年演武、ファミリー演武に分け、それぞれ上位 3 団体を表彰。
- ・模範演武：専修生演武、海外道場演武、指導者演武、支部長演武、本部指導員演武、警視庁師範演武、本部師範演武、主席師範演武、最高師範演武を行った。
- ・以上の他、最高師範による総合解説、審査員講評など実施。
- ・大会翌日の講習会は、本部道場にて、道場長・主席師範・最高師範が講師となり実施。

<参加者数> 演武大会参加者：一般 553 名 少年 158 名

講習会参加者：54 名

6. 事業完了年月日 平成 26 年 11 月 16 日（日）

平成 25 年度 toto スポーツ振興くじ助成 実績報告

1. 助成事業細目：スポーツ活動推進事業
2. 事業細目名：スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
3. 事業名：第 58 回全日本養神館合気道総合演武大会及び講習会
4. 交付確定額：1,132,000 円

5. 実施状況

<開催日>11月2日（土）第58回全日本養神館合気道総合演武大会
11月3日（日）講習会

- ・競技演武：トーナメント方式。白帯の部・茶帯の部・黒帯の部、いずれも男子・女子に区分した上で実施。各部の男子・女子ともに上位3組を表彰。
- ・団体演武：各団体3分の演武を行い、審査委員が審査。団体演武、少年少女演武、壮年演武、ファミリー演武に分け、それぞれ上位3団体を表彰。
- ・模範演武：専修生演武、海外道場演武、指導者演武、支部長演武、本部指導員演武、警視庁師範演武、本部師範演武、主席師範演武、最高師範演武を行った。
- ・以上の他、最高師範による総合解説、審査員講評など実施。
- ・大会翌日の講習会は、本部道場にて、道場長・主席師範・最高師範が講師となり実施。

<参加者数> 演武大会参加者：一般 524名 少年 112名
講習会参加者：45名

6. 事業完了年月日 平成 25 年 11 月 3 日（日）